

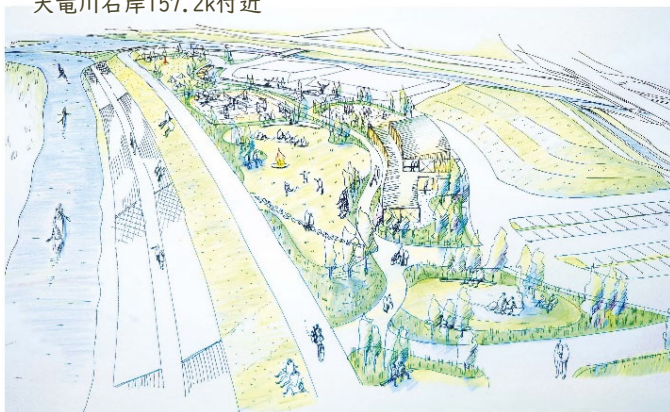


笑顔、きらきら、天竜川



コスマ沢砂防堰堤 R5.3概成（飯田市上村地先）

天竜川右岸157.2k付近



高森町作成イメージパース

山吹地区MIZBEステーション（高森町山吹地先）

2023 事業概要 （令和5年度）

国土交通省 中部地方整備局
天竜川上流河川事務所

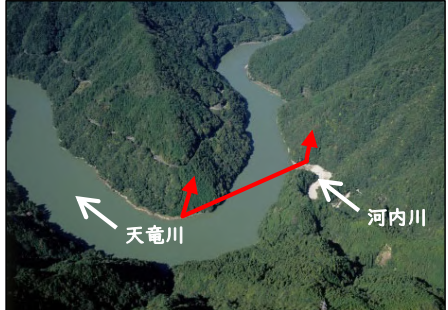


いのちとくらしをまもる
防災減災

天竜川上流河川事務所 管内図



天竜川は、諏訪湖を源とし中央・南アルプスの間を南下、静岡県を流下して太平洋に注ぐ、流域面積5,090km²、幹川延長213kmの我が国屈指の急流河川であり、脆弱な地層、急峻な地形と相まって、洪水や土砂災害といった幾多の災害を引き起こしてきました。



事務所の概要

事務所のあゆみ

天竜川上流河川事務所の前身として、昭和12年の「内務省直轄・名古屋土木出張所 小渋川砂防工場」が設置され、昭和22年に小渋川砂防を引き継ぎ「内務省関東土木出張所 天竜川工事事務所」が発足、昭和28年に「天竜川上流工事事務所」と名称変更、平成15年4月1日より「天竜川上流河川事務所」と名称変更され、現在に至っています。

管内は長野県南信地域の天竜川流域で河川3出張所、砂防4出張所を配置し、地域の河川事業・砂防事業を進めています。

事務所の組織



職員数 67名

令和5年度 事業費

■ 河川事業費	1, 435, 471 (令和4年度補正 972, 782)	【単位:千円】
■ 砂防事業費	5, 481, 200 (令和4年度補正 1, 949, 159)	
合 計	6, 916, 671 (令和4年度補正 2, 921, 941)	

流域治水対策の推進

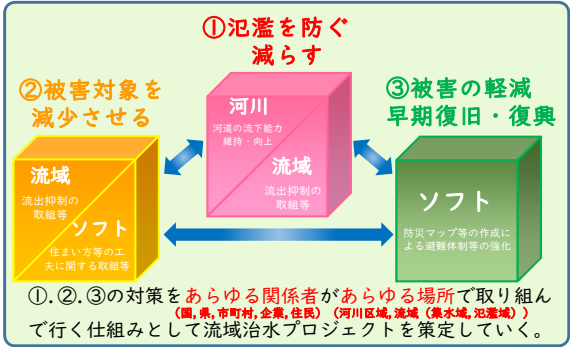
流域治水の理念

気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。

「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生、砂防堰堤の整備等の対策をより一層加速させるとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考えです。



流域治水対策のイメージ図



天竜川上流 流域治水プロジェクト
(令和3年3月 公表)

天竜川上流流域治水プロジェクト
リンクバナー

天竜川上流流域治水プロジェクトのリンクバナー。天竜川上流流域治水協議会のロゴと、治水の取り組みのイメージが描かれています。

流域治水プロジェクト中部地整特設ページ
リンクバナー

流域治水プロジェクト中部地整特設ページのリンクバナー。流域治水プロジェクトのロゴと、治水の取り組みのイメージが描かれています。

流域治水協議会
～「流域治水」への転換～

流域治水協議会のポスター。流域治水協議会のロゴと、治水の取り組みのイメージが描かれています。

天竜川上流河川事務所

天竜川上流河川事務所のウェブサイト。最新の治水情報や、治水の取り組みのイメージが描かれています。

天竜川上流河川事務所

天竜川上流河川事務所のウェブサイト。最新の治水情報や、治水の取り組みのイメージが描かれています。

中部長期ビジョン リンクバナー

中部長期ビジョンのリンクバナー。中部長期ビジョンのロゴと、治水の取り組みのイメージが描かれています。

天竜川上流河川事務所HP

流域治水対策の推進

情報共有の場

気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して

流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策

○天竜川上流域流域治水協議会

天竜川上流域においても、流域治水を計画的に推進していくために、流域治水協議会を令和2年8月に設立



WEBを活用した協議会の様子



日時：令和4年3月24日(木)16:00～
開催方式：WEB
出席：諏訪・上伊那・下伊那圏域の25市町村
林野庁中部森林管理局、長野県
国土交通省
天竜川上流河川事務所
天竜川ダム統合管理事務所
三峰川総合開発工事事務所

○天竜川上流水防連絡会

水防法の改定（平成29年6月19日）により、「水防災意識社会」を再構築するため、多様な関係者が連携して、天竜川上流管内における洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合かつ一体的に推進することを目的に意見交換等を行っています。



WEBを活用して連絡会を開催（R4.4）

○天竜川の伊北地区改修に係る連絡会

伊那伊北地区は、平成18年7月洪水と同規模の流量及び諏訪湖釜口水門の放流量増加に対応する改修を行ったが、河川整備計画で目標とする流量に対応するためにはさらなる流下断面の確保が必要であり、河床掘削の妨げとなる取水堰の改築に向けた連絡会を令和3年度に設置し、関係者と意見交換を行っています。

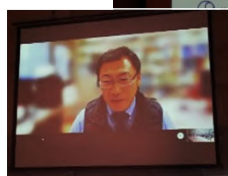
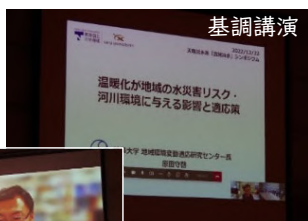


天竜川伊北地区

啓発イベント等

○流域治水シンポジウム

激甚化・頻発化する水害に県民一人ひとりが、今、できる「備える」とは何かを、専門家の講演や市民団体の取組などを通して考えるシンポジウムを開催



岐阜大学 地域環境変動適応研究センター
原田 守啓センター長

開催日：令和4年12月22日(木)
会場：岡谷市文化会館 カノラホール
内容：基調講演
取組・事例紹介

○大規模土砂災害を想定した合同訓練 ～防災担当者の連携を強化～



【会場】駒ヶ根市役所 【WEB】天竜川上流河川事務所

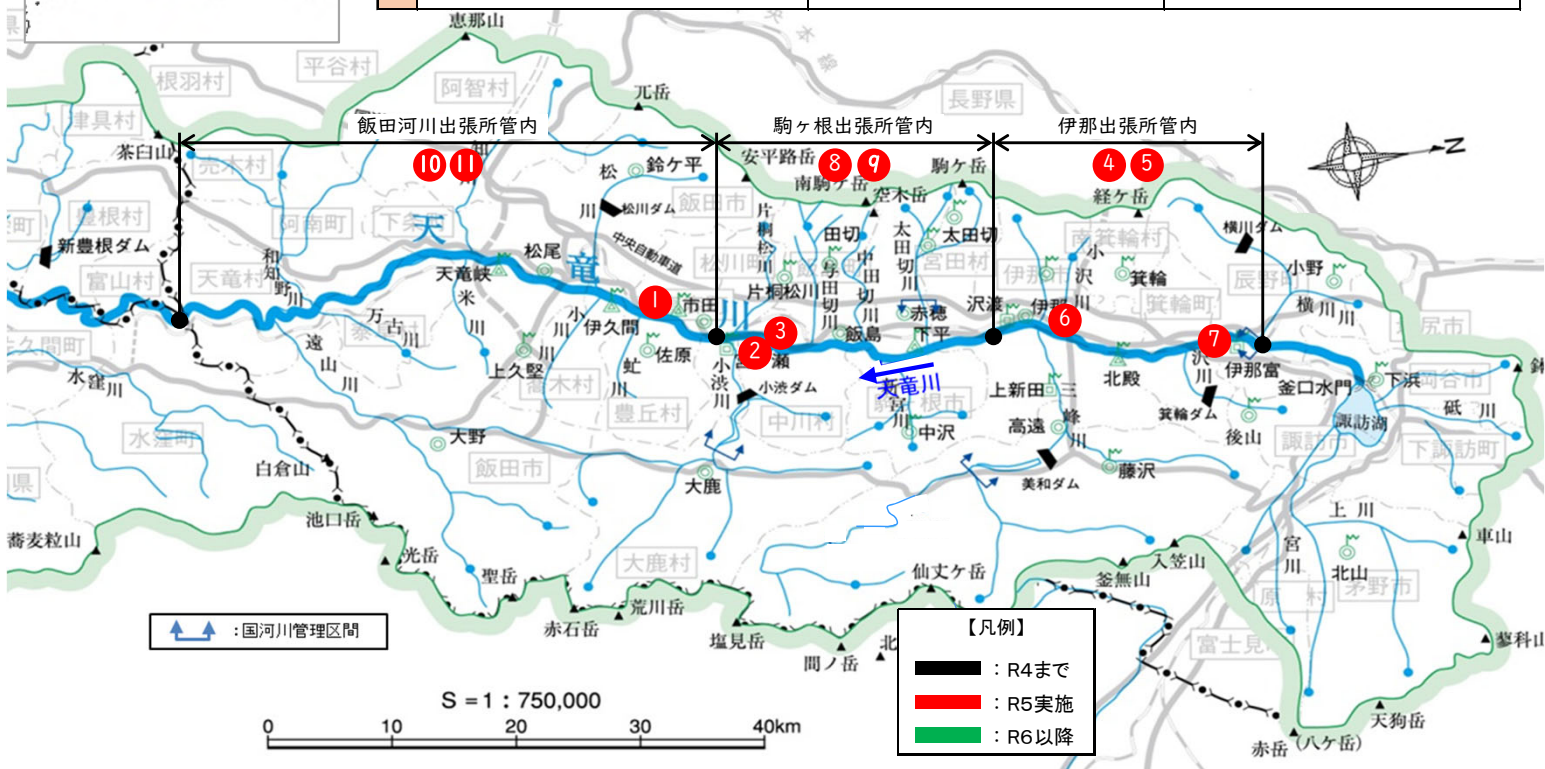
日時：令和5年1月24日(火)
参加機関：駒ヶ根市、長野県(危機管理課、砂防課、伊那建設事務所)、中部地方整備局河川部、天竜川上流河川事務所、WEB見学6市町村
内容：情報収集・警戒体制の確立・警戒避難の実施
土砂災害発生箇所・被害状況の把握
緊急調査の実施
監視・観測対応の実施

天竜川上流の河川事業

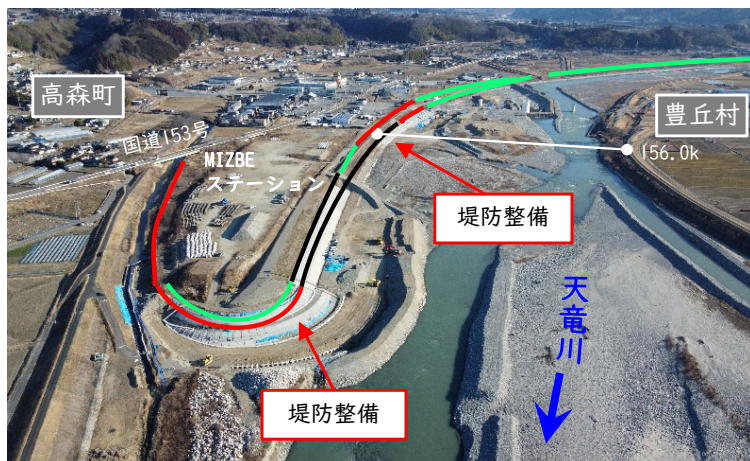
R5年度（R4補正含む）の主な河川事業箇所位置図



	事業名／工事名	施工場所	工事内容
河川 改修	① 山吹地区河川整備事業	下伊那郡高森町山吹地先	堤防整備
	山吹地区MIZBEステーション整備事業		MIZBEステーション整備
	② 南向地区堤防整備事業	上伊那郡中川村葛北地先	堤防整備
河川 維持 修繕	③ 小和田地区堤防整備事業	上伊那郡中川村小和田地先	堤防整備
	④ 伊那地区堤防維持管理修繕工事	伊那出張所管内	維持作業＋除草工事
	⑤ 伊那管内維持修繕工事	伊那出張所管内	維持作業
	⑥ 坂下地区護岸修繕工事	伊那市坂下地先	護岸修繕
	⑦ 東箕輪地区護岸修繕工事	上伊那郡箕輪町東箕輪地先	護岸修繕
	⑧ 駒ヶ根地区堤防維持管理修繕工事	駒ヶ根出張所管内	維持作業＋除草工事
	⑨ 駒ヶ根管内維持修繕工事	駒ヶ根出張所管内	維持作業
	⑩ 飯田地区堤防維持管理修繕工事	飯田河川出張所管内	維持作業＋除草工事
	⑪ 飯田管内維持修繕工事	飯田河川出張所管内	維持作業



山吹地区堤防整備事業



南向地区堤防整備事業



天竜川上流の河川事業

R5年度の主要河川事業



やまぶき
山吹地区河川整備事業（堤防整備・MIZBEステーション整備）



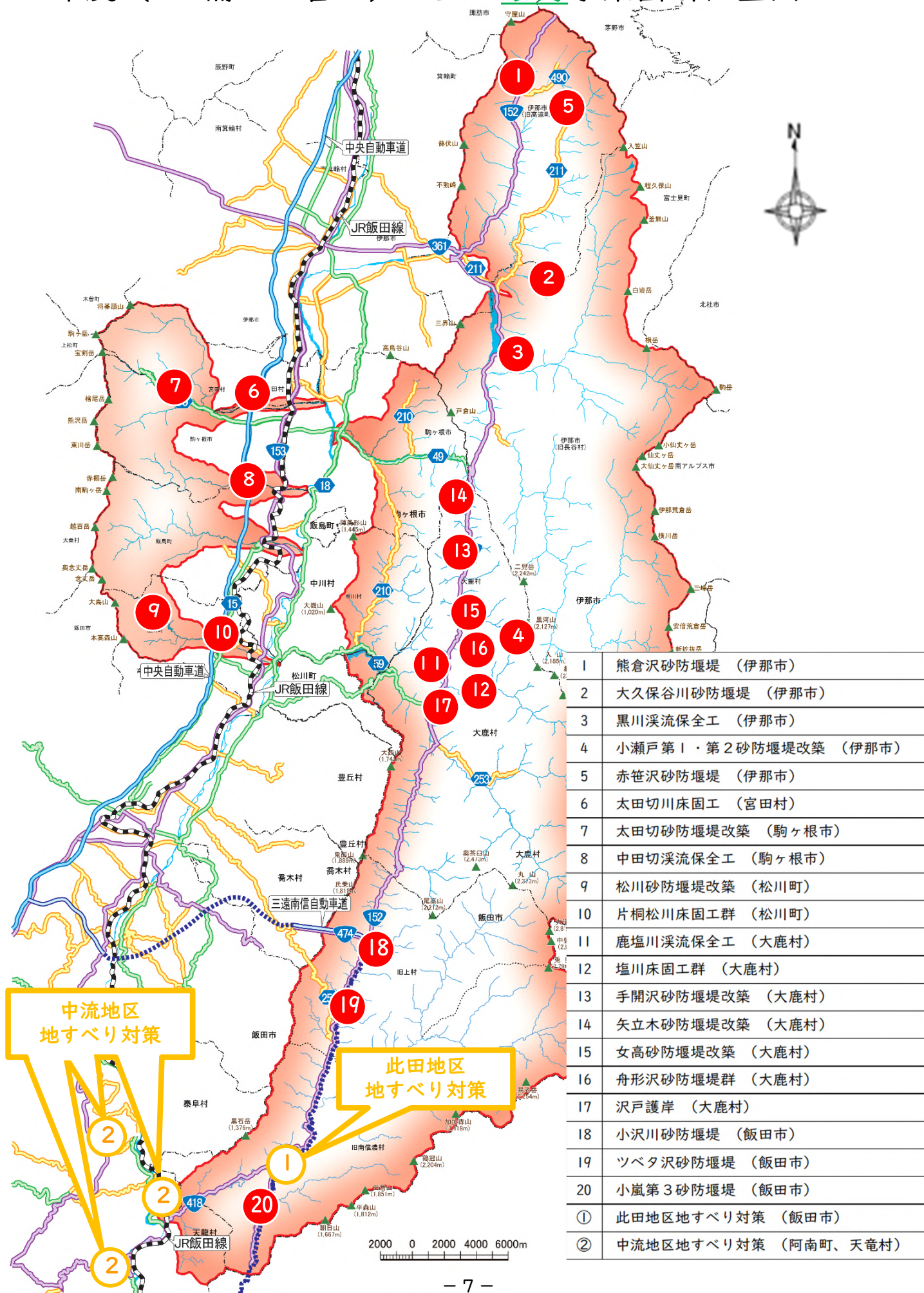
みなかた
南向地区堤防整備事業（堤防整備）



こわだ
小和田地区堤防整備事業（堤防整備）

天竜川上流の砂防事業

R5年度（R4補正を含む）の主な砂防事業箇所位置図



天竜川上流の砂防事業

R5年度の主な砂防事業【砂防堰堤】

おおくぼだにがわ

大久保谷川砂防堰堤（伊那市）

くまくらざわ

熊倉沢砂防堰堤（伊那市）

あかざざわ

赤笹沢砂防堰堤（伊那市）

おおたぎり

太田切砂防堰堤改築（駒ヶ根市）

まつかわ

松川砂防堰堤改築（松川町）

やたぎ

矢立木砂防堰堤改築（大鹿村）

てびらきざわ

手開沢砂防堰堤改築（大鹿村）

ふながたざわ

舟形沢砂防堰堤（大鹿村）

こおろし

小嵐第3砂防堰堤（飯田市）

つべたざわ

ツベタ沢砂防堰堤（飯田市）

こざわがわ

小沢川砂防堰堤（飯田市）



手開沢砂防堰堤



ツベタ沢砂防堰堤



小嵐第3砂防堰堤

天竜川上流の砂防事業

R5年度の主な砂防事業【床固工群（溪流保全工）】



くろかわ
黒川溪流保全工



かたぎりまつかわ
片桐松川床固工群



おおたぎり
太田切溪流保全工



しおかわ
塩川床固工群

R5年度の地すべり対策事業

でんりゅうがわちゅうりゅう

天竜川中流地区地すべり対策(阿南町・天龍村)



天竜川中流地区（阿南町開窪）



天竜川中流地区（天龍村平岡）



集水井工



表面排水路工



横ボーリング工



天竜川中流地区（天龍村中井侍）



此田地区地すべり対策(飯田市)



此田地区

天竜川上流の河川管理

○水質事故防止対応

河川への油類や有害物質などの流出事故が発生した場合は、関係機関と連携し、オイルフェンス設置などの拡散防止対策を行います。このような流出事故は、水質の悪化はもとより下流の取水施設等に大きな被害を与えるばかりか、場合によっては損害賠償問題へ発展することもあります。水質事故による被害軽減のため、対策資材の備蓄をはじめ、関係機関と合同で定期的に水質事故対策訓練を実施するとともに、水質事故防止に向けた啓発活動を積極的に行っています。



水質事故発生時の対応状況



水質事故現地対策訓練

○公募型河道内樹木伐採

天竜川上流河川事務所では、コスト縮減を図りながら河道内樹木を減らすため、平成27年度から公募型河道内樹木伐採を実施しています。令和4年度には、管内8箇所に17団体に参加していただきました。当地域は薪ストーブユーザーが多く、参加者のほとんどは、伐採した樹木を自家用の薪ストーブの燃料に使用することです。地域の需要に応えつつ、伐採コストを縮減する取り組みとなっています。



洪水時の妨げとなる河道内樹木を伐採

○市民団体等によるボランティア活動

かつての天竜川、三峰川の名風景を取り戻し、治水上安全で親しみのある川づくりに向けて、市民団体（三峰川みらい会議、天竜川ゆめ会議 等）や地域主体のボランティア活動が継続されています。地域の皆さまのご協力により河川の環境が保たれています。今後も地域の皆さまとともに定期的に保全活動を行っていきます。



特定外来種：アレチウリ

河原固有種の保全に向けたアレチウリ駆除



河川愛護月間での河川清掃

天竜川上流の環境と利用

○地域と協調した河川環境保全

地元固有種である「ツツザキヤマジノギク」が自生する松川町では、自然再生事業で実施したレキ河原の再生をきっかけに観察会・個体数調査・外来種駆除などの活動が盛んになり、現在では地元自治体主体の保全協議会が設立され、活動が継続されています。また、日本で最大規模と言われる「ミヤマシジミ」の生息地があり、専門家に助言をいただき幼虫の食草保全等を行いながら河川管理を行っています。



ツツザキヤマジノギク



ミヤマシジミ

○水生生物調査

天竜川と支川の12地点で採取した指標生物の種類と数から、水質を判定する「水生生物調査」を地域の小学生と保護者にご協力いただき実施しています。本川ではおよそ40年にわたり調査しており、近年は各地点とも「きれいな水」の判定となっています。



水生生物を採取



指標生物で水質を判定

○天竜川総合学習館『かわらんべ』

災害時の防災拠点として平成14年に開館した飯田市川路地区の『かわらんべ』の愛称で親しまれている天竜川総合学習館では、河川の安全な利用促進や防災・自然体験講座の支援を行っています。

「カッパのように川に親しみ川を知り、洪水や水難から身を守る知識や、自然環境に目を向けてもらいたい」との願いを込めて運営しています。周辺地区では河川美化活動などのボランティア活動も積極的に地域の皆様と行われています。

※『かわらんべ』は、伊那谷の方言で『カッパ』を意味します。



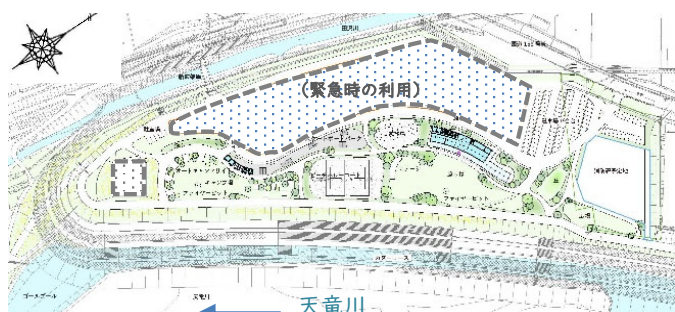
『かわらんべ』施設の様子



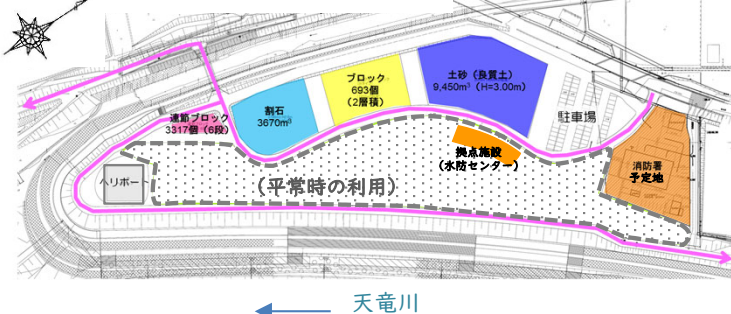
自然体験講座

○中部地整管内 初！ 山吹地区MIZBEステーション

平常時の利用（高森町作成イメージ図を加工）



緊急時の利用（イメージ図）



災害時と平常時両面の機能を併せ持つ『MIZBEステーション』は、洪水時における緊急復旧活動等の拠点となる河川防災ステーションの機能に加え、賑わいの創出や地域活性化に資するエリアの基盤を国と町が連携し一体な整備を行います。

■防災機能（災害時）

堤防決壊時の緊急復旧活動、災害復旧資材の備蓄、水防活動等の拠点、災害時の避難場所。

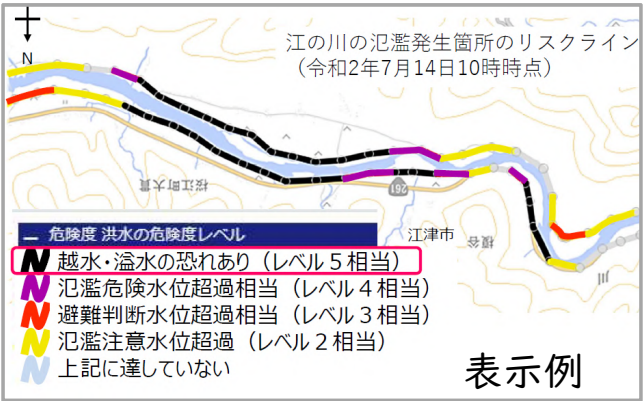
■地域連携機能（平常時）

高森町では、「天竜川高森かわまちづくり計画」に沿って、国体開催に向けたカヌーコースなどハード面の整備とあわせ、平常時はこのスペースを水辺への関心や賑わいを高めるようなイベントなどを実施する拠点施設として使用する予定。

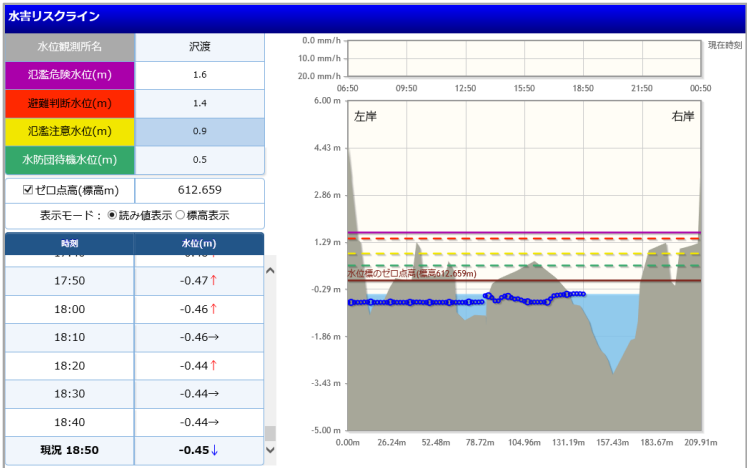
危機管理（防災情報等の活用）

○水害リスクラインによる危険度表示

観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さと比較することで危険度を色別に表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝えます。



水位観測所を選択



○多段階の浸水想定図と水害リスクマップ

土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、[多段階の浸水想定図]及び[水害リスクマップ]を公表しています。

[多段階の浸水想定図]

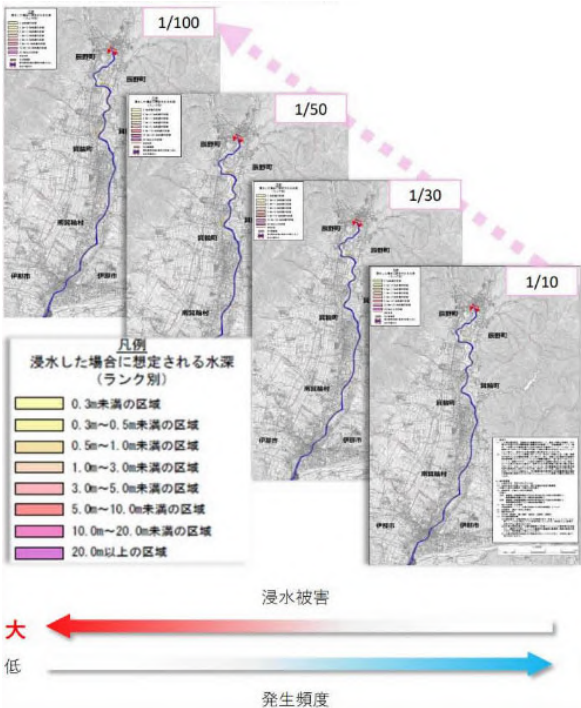
公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い複数の年超過確率毎（1/10・1/30・1/50・1/100）に多段階の浸水想定図を作成。

※年超過確率1/100：毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率が1/100であることをいう。

[水害リスクマップ]

1/10～想定最大規模降雨の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたもので、年超過確率毎の浸水域を示し、浸水深毎に水害リスクマップを作成

- 浸水深 0cm 以上
- 浸水深 50cm（床上浸水想定）以上
- 浸水深 3m（1階居室浸水相当）以上



河道条件	浸水深		
	浸水あり	50cm以上	3m以上
現状	●	●	●
短期整備後	●	●	●
中期整備後	●	●	●
中長期整備後	●	●	●

危機管理（防災情報等の活用）

国土交通省などで収集した雨量・水位・ダム情報等について、『川の防災情報』を通じ、情報発信を行っています。また、『川の水位情報』でも、各水位観測所の水位に加え、**危機管理型水位計**の水位データと**簡易型河川監視カメラ**を閲覧することができます。

○危機管理型水位計（80基）

洪水時の水位観測に特化した水位計で、一定の水位（河川管理者が指定した水位）を超過したときから、10分以内毎に水位観測を行う水位計です。氾濫開始水位までの水位を観測するため、状況把握や避難の判断に活用することができます。



危機管理型水位計の設置状況

○簡易型河川監視カメラ（40基）

管内における河川の状況を画像発信することでリアリティをもってお伝えすることができ、地域住民の方々の安全行動の参考として活用して頂くことを目的に簡易型河川監視カメラを設置しました。



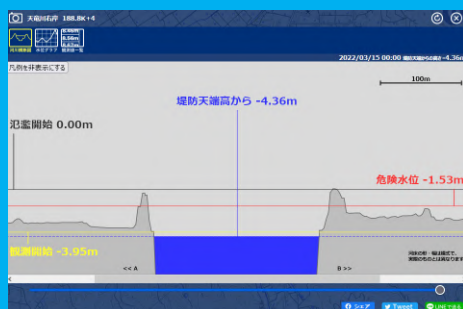
簡易型河川監視カメラの設置状況

○川の水位情報画面



①危機管理型水位計

リアルタイムの水位情報を確認できる
（氾濫開始までの水位を確認）



②簡易型河川監視カメラ

リアルタイムの河川状況を確認できる
※画像は5分毎の静止画



※川の防災情報でも危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラは確認できます。

天竜川については、平成31年4月より、PCサイト『川の水位情報』の運用を始めました。本システムではスマートフォン・タブレット・パソコン等を用いて、**危機管理型水位計の水位データや、通常水位計の水位データ、河川監視カメラの画像**を閲覧することができます。アクセスはこちらから→ <https://k.rever.go.jp/>（パソコン・スマートフォン共通）



近年の出水（令和元年～）

【令和元年台風19号】

- 令和元年台風19号の影響で10月12日から13日の未明にかけ県内に最接近し、降り始めからの降水量が美和ダム流域平均で約326mmを観測しました。
- 最大流入量 約887m³/sは過去3番目に大きい流入量となり、**美和ダムでは異常洪水時防災操作（緊急放流）を実施**しました。



美和ダムの放流状況（R元. 10. 12）

【令和2年7月豪雨】

- 梅雨前線の停滞により6月30日から7月12日までの期間降水量は、天竜川水系の各地で300mmを超え、伊那市北沢雨量観測所では期間降水量1062mm（時間最大雨量26mm/h）を観測しました。
- 三峰川では、**堤防の一部が欠損する被害**が発生しました。



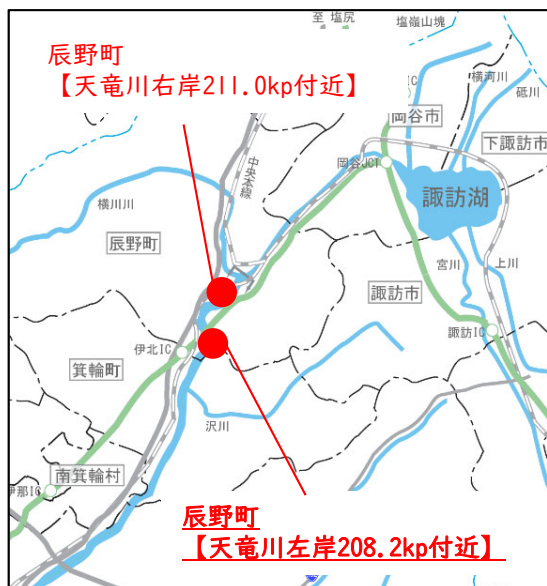
堤防の欠損（R2. 7. 1）



復旧工事完了（R2. 7. 14）

【令和3年8月の出水】

- 前線の停滞により8月12日から15日までの降水量は、太田切雨量観測所では546mmを観測し、伊那富水位観測所（辰野町）では、戦後4番目、沢渡水位観測所（伊那市）では、平成18年7月豪雨を上回る戦後2番目に高い水位を記録しました。
- 天竜川本川では、**河岸侵食等の被害**が発生しました。



被災時 R3. 8. 15



緊急復旧時 R3. 8. 15



応急復旧完了 R3. 8. 18



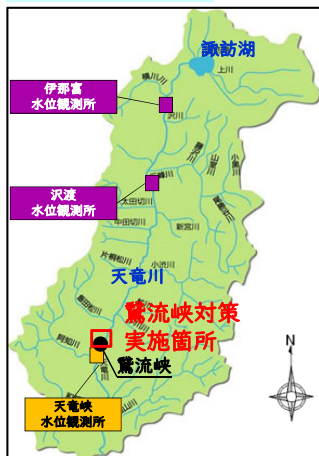
護岸完成 R5. 3

辰野町【天竜川左岸208.2km付近】（河岸侵食）

驚流峡対策の効果 (工事実施：H27～R2)

- 令和3年8月の出水において、驚流峡対策（令和2年度末概成）を実施していなかった場合の水位と実施後の水位を比較した結果、水位が約100cm低下しました。これにより、決壊氾濫リスクが低減したと推定されます。

●位置図



●出水状況

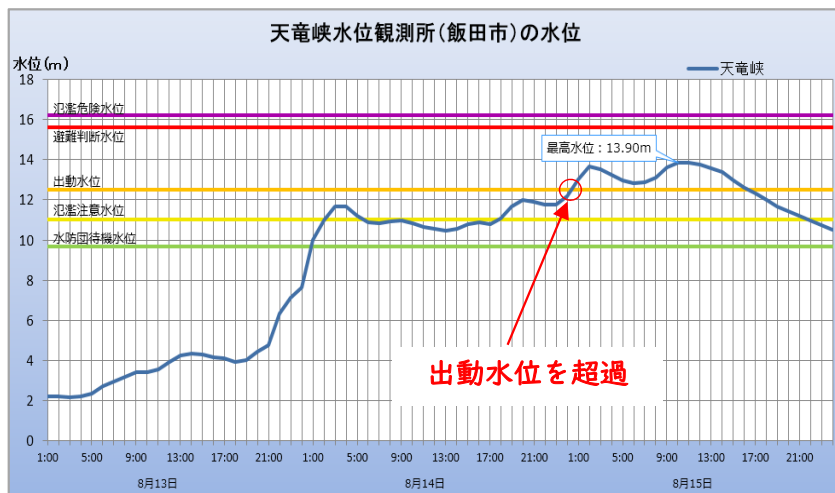
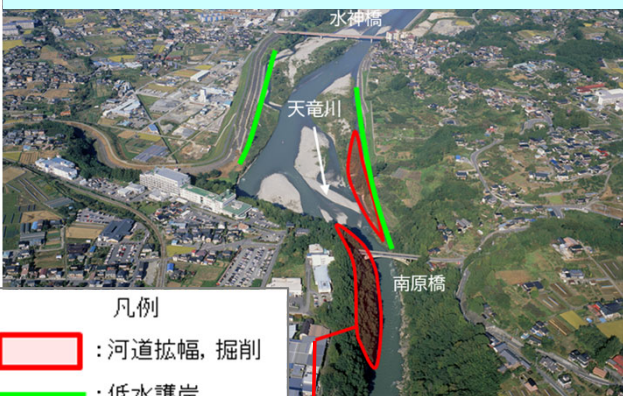


平常時の様子（天竜峡）



出水時の様子（天竜峡）

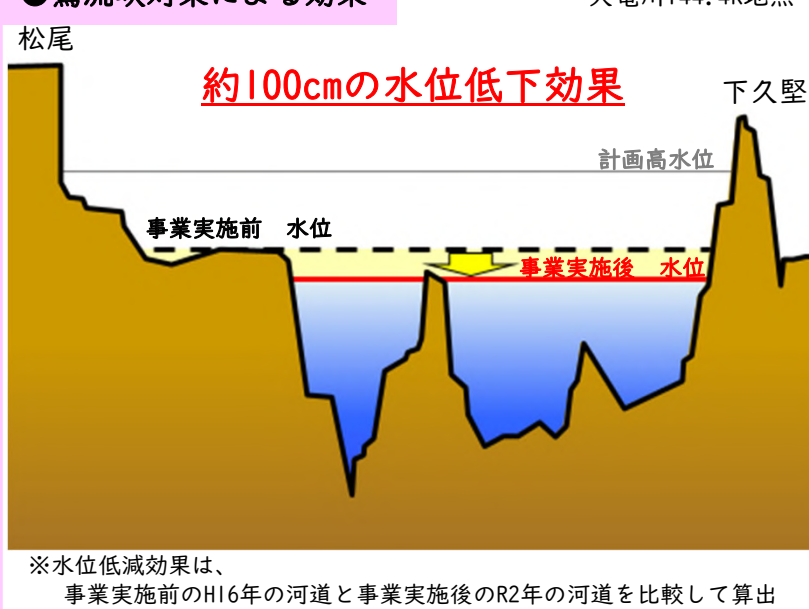
●松尾・下久堅地区治水事業(驚流峡対策)



●驚流峡の掘削



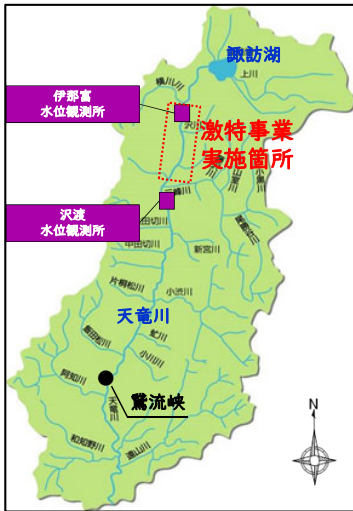
●驚流峡対策による効果



激特事業の効果 (工事期間：H18～22)

- 令和3年8月の出水において、激特事業（伊那伊北地区）を実施していなかった場合の水位と実施後の水位を比較した結果、**水位が約70cm低下**しました。
- これにより水位を計画高水位以下に抑えることができたと推定されます。

●位置図

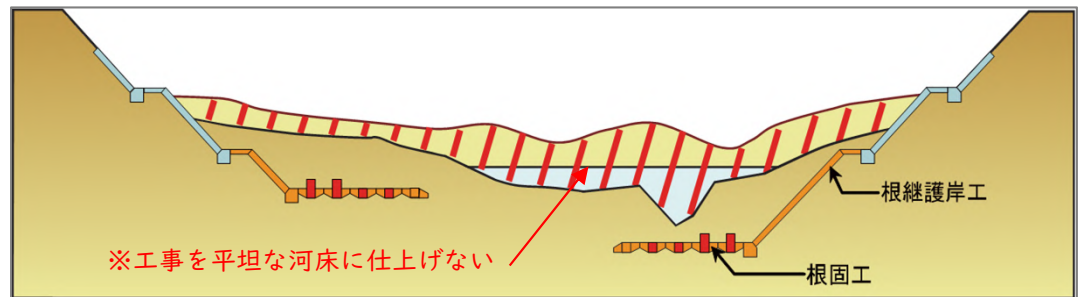


●事業概要

事業箇所：伊那伊北地区（伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町）



事業のイメージ



●出水状況



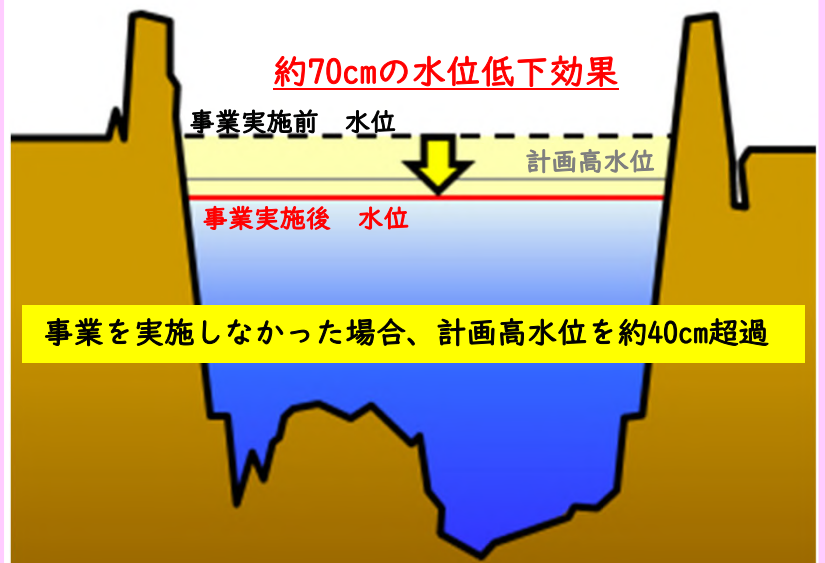
戦後4番目に高い水位（2.66m）を記録



伊那富水位観測所の水位

●激特事業による効果

天竜川210.0k地点



※水位低減効果は、事業実施前のH16年の河道と事業実施後のR2年の河道を比較して算出

激特事業（平成18年7月豪雨対応）

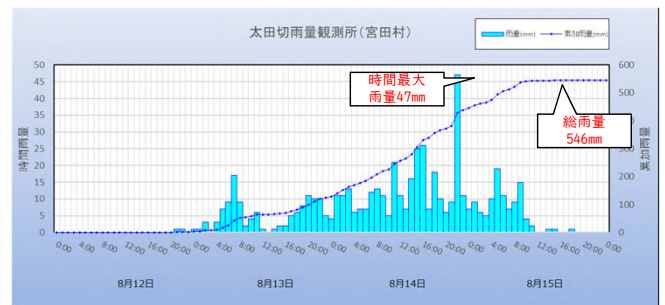
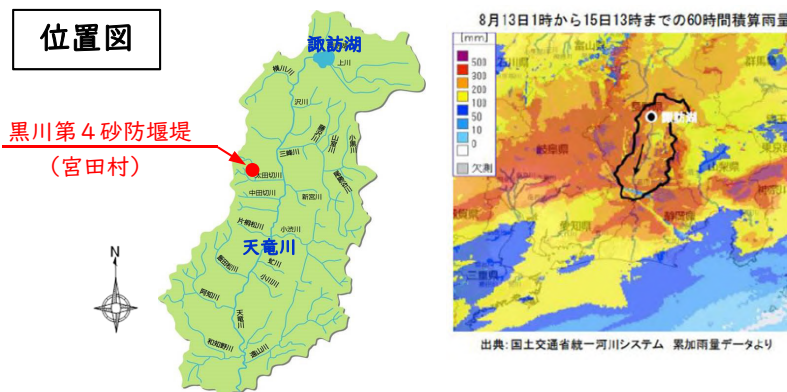
釜口水門最大放流 400m³/s → 430m³/s を目標とする河道整備

3ヶ年緊急対策事業の効果 (H30~R2)

黒川第4砂防堰堤が土石流・流木を捕捉

- 令和3年8月12日から8月15日にかけて、梅雨前線による時間最大雨量47mm/h、総雨量546mmの大雨を観測（太田切雨量観測所）し、この雨により大量の土砂・流木が流出しました。
- 国土強靱化3か年緊急対策事業で整備した黒川第4砂防堰堤が効果を発揮（土砂・流木を捕捉）し、下流への被害を防ぎました。

位置図

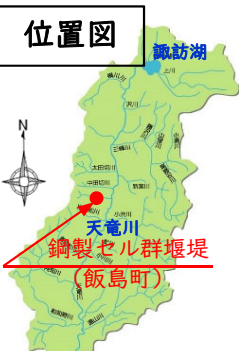


土砂約44,000m³、流木約800m³を捕捉

令和4年鋼製セル群堰堤の効果

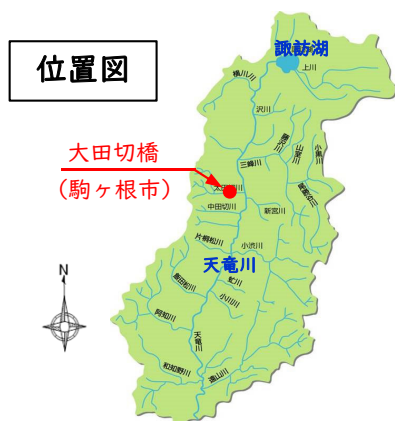
- 令和4年8月29日から9月1日にかけて降り続いた降雨により、天竜川水系与田切川において土石流が発生しました。
- 与田切鋼製セル群堰堤により効果が発揮（土砂を捕捉）し、下流への被害を防ぎました。

位置図



令和3年の出水に対する砂防事業の対応

- 令和3年8月12日、太田切川流域で3日連続雨量546mmの大雨が発生
- これにより、新大田切橋付近で約6mの河床低下が発生、砂防施設（県施工）が被災しました。
- 多量の土砂流出・河床低下による上流の砂防施設への損傷を防ぐため、長野県・駒ヶ根市と協議を行い、被災した砂防施設への緊急対応と応急復旧を実施しました。



砂防施設の復旧状況



被災直後 (R3.8.18時点)



緊急復旧施工 (24時間施工)



緊急復旧完了 (3日間で完了)



応急復旧完了 (40日間で完了)



太田切川ブロック堰堤完成 (R4.5)



天竜川流域（長野県内）において、国が行う河川事業・砂防事業を実施しています。
ご意見・ご質問等がございましたら
事務所または、最寄りの出張所へお問い合わせ下さい。

○ 事務所各課の連絡先

部	署	名	電話番号	FAX 番号
総	務	課	0265 (81) 6411	
経	理	課	0265 (81) 6412	0265 (81) 6419
用	地	課	0265 (81) 6413	
品	質	確 保 課	0265 (81) 6416	
砂	防	調 査 課	0265 (81) 6417	0265 (81) 6421
工	務	課	0265 (81) 6418	
管	理	課	0265 (81) 6414	0265 (81) 6420
流	域	治 水 課	0265 (81) 6415	

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/tenryo/>
Mail cbr-tenryo@mlit.go.jp
Twitter https://twitter.com/mlit_tenryo/

事務所のインターネットページ

【人気のコンテンツ】

- ・河川・砂防監視カメラ
- ・最大想定規模の洪水浸水区域図
- ・天竜川の主要な動植物
- ・語りつぐ天竜川シリーズ
- ・人と暮らしの伊那谷遺産 など



○ 河川出張所連絡先

伊 那 出 張 所	0265 (72) 2734	0265 (72) 3341	〒396-0026 伊那市西町5171-2
駒ヶ根出張所	0265 (82) 5682	0265 (83) 0618	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂4538-5
飯田河川出張所	0265 (22) 3654	0265 (53) 0359	〒395-0821 飯田市松尾新井6753

○ 砂防出張所連絡先

小 渋 川 砂 防 出 張 所	0265 (39) 2301	0265 (39) 2460	〒399-3502 長野県下伊那郡大鹿村大河原892
三 峰 川 砂 防 出 張 所	0265 (94) 2059	0265 (94) 2376	〒396-0211 長野県伊那市高遠町西高遠631
飯 島 砂 防 出 張 所	0265 (86) 2159	0265 (86) 4009	〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島2527-3
遠 山 川 砂 防 出 張 所	0260 (34) 2376	0260 (34) 2641	〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内209-5



笑顔、きらきら、天竜川。

天竜川上流河川事務所

代表電話番号：0265-81-6411

住所：〒399-4114 駒ヶ根市上穂南7-10

Tenryu River Upper Reach Office,
Chubu Regional Development Bureau,
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, JAPAN
Uwabu-minami 7-10, Komagane City, Nagano Prefecture JAPAN 399-4114